

平成31年度 授業実施計画書

学 年	1 年
教科名	英 語
科目名	コミュニケーション英語 I
単 位 数	3
必修選択区分	必 修
使用教科書	Revised ELEMENT I English Communication (啓林館)
使用副教材	英熟語ターゲットR(旺文社)

組	科目担当者
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

学習の目標	1 学期	学習段階に応じた適切なレベルの英文を数多くインプット(読む・聞く)していきます。1. 英文の構造を意識した意味の取り方に関するルール。英文の段落構成法など。2. 英文を作る上での語順やその仕組み(=文法)。3. 正しい英文の音読の仕方(発音、意味の切れ目、抑揚など)。
	2 学期	学習段階に応じた適切なレベルの英文を数多くインプット(読む・聞く)していきます。1. 英文の構造を意識した意味の取り方に関するルール。英文の段落構成法など。2. 英文を作る上での語順やその仕組み(=文法)。3. 正しい英文の音読の仕方(発音、意味の切れ目、抑揚など)。
	3 学期	学習段階に応じた適切なレベルの英文を数多くインプット(読む・聞く)していきます。1. 英文の構造を意識した意味の取り方に関するルール。英文の段落構成法など。2. 英文を作る上での語順やその仕組み(=文法)。3. 正しい英文の音読の仕方(発音、意味の切れ目、抑揚など)。
担当者からのコメント	インプットした英文で用いられた英単語・英熟語を「使える」ようにマスターする。	

成績評価	観点	<ul style="list-style-type: none"> ・英語によるコミュニケーションに関心を持ち、音読、Q&Aなどの言語活動に積極的に参加しているか。 ・英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどの概要や要点を理解しているか。 ・英語やその運用についての知識を身につけ、言語の背景にある文化などを理解しているか。
	方法	①定期テスト考查点 100点×2 (3学期は 100点) ②ポキヤコン 100点×2 (3学期は 100点) ③サイトラ書写ノートの提出点 2回分 (3学期は 1回分) ④その他 長期休業中の課題提出点・課題テスト点など

授 業 計 画	学 期	時間	指 導 内 容	備 考
	1 学期	中間	18	Lesson 1-2
期末		18	Lesson 3-4	
2 学期	中間	21	Lesson 5-6	4技能を使った活動を行い、基礎力を養う。
	期末	21	Lesson 7-8	
3 学期	学 年 末	27	Lesson 9-10	4技能を使った活動を行い、基礎力を定着させる。

平成31年度 授業実施計画書

学 年	1 年
教科名	英 語
科目名	英 語 表 現 I
単 位 数	2
必修選択区分	必 修
使用教科書	Revised Vision Quest English Expression I Advanced(啓林館)
使用副教材	Vision Question English Expression I Workbook(啓林館)
	どんどん話すための瞬間英作文トレーニング(ベレ出版)

組	科目担当者	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

学習の目標	1 学期	①文法・語法の知識を適切に活用して、状況に応じた英語で表現する力をつける。 ②語彙や文法・語法の知識を運用して身近な話題について40語程度のまとまりのある文章を書くことができる。
	2 学期	①文法・語法の知識を適切に活用して、状況に応じた英語で表現する力をつける。 ②語彙や文法・語法の知識を運用して身近な話題について50語程度のまとまりのある文章を書くことができる。
	3 学期	①文法・語法の知識を適切に活用して、状況に応じた英語で表現する力をつける。 ②語彙や文法・語法の知識を運用して身近な話題について60語程度のまとまりのある文章を書くことができる。
担当者からのコメント	文法・語法・構文を体系的に理解し、演習や暗唱を通じて基本的な知識を定着させる。	

成績評価	観 点	・学習内容がどの程度定着しているか。 ・学習内容をどの程度活用して英語で表現できるか。 ・授業に積極的に取り組んでいるか。
	方 法	① 定期テスト 100点×2回(3学期は1回) ② 演習ノート 2回分(3学期は1回)

授 業 計 画	学 期	時 間	指 導 内 容	備 考
	1 学期	中間	12	文の種類、文型と動詞、修飾語
期末		12	動詞の分類、受動態、分詞	
2 学期	中間	14	関係詞、接続詞	コミュニケーション活動や各課題で定着をはかる。
	期末	14	時制、完了形	
3 学期	学 年 末	18	助動詞、仮定法、否定表現	コミュニケーション活動や各課題で定着をはかる。

平成31年度 授業実施計画書

学 年	1 年
教科名	英 語
科目名	英 語 探 究
単 位 数	1
必修選択区分	必 修
使用教科書	Original Handouts
使用副教材	

組	科目担当者
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

学習の目標	1 学期	To be able to describe things and people around students
	2 学期	To be able to famliarize oneself with argumentative paragraphs, English debates and delivering presentations
	3 学期	To be able to write narrative paragraphs such as fables and autobiography
担当者からのコメント		

成績評価	観点	Speaking: frequency, conversational fillers and strategy, and delivery. Writing: idea generations, structures in diffeent styles, and coherence and cohesion
	方法	To be evaluated based upon writing essays and speaking tests

授 業 計 画	学 期		時間	指 導 内 容	備 考
	1 学期	2 学期			
	1 学期	中間	6	Self-introduction and Chatting, Asking about favorite things, Show & Tell etc.	
		期末	6	Understanding a paragraph, Writing a Descriptive Paragraph about food and its recipe, Recommending food you like etc.	
	2 学期	中間	7	Writing an Argumentative Paragraph, Introduction to Parliamentary debate, Writing a Descriptive Paragraph etc.	
		期末	7	Introduction to English presentation, Making a speech about Cultures, Writing up a presentation script etc.	
	3 学期	学年末	9	Writing Narrative Paragraphs based upon Urashimataro, Writing a short autobiography about Ichiro, Writing about a person you like etc	

平成31年度 授業実施計画書

学 年	2 年
教科名	英 語
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ
単 位 数	4
必修選択区分	必 修
使用教科書	PROMINENCE English CommunicationⅡ
使用副教材	・瞬間英作文トレーニング・システム英単語 ・Focus on listening Pre-Advanced ・height 2

組	科目担当者
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

学習の目標	1 学期	主にALTとの授業で英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すると共に、構文を意識し、情報や考えなどを的確に理解する力を伸ばす。教科書の語彙、小テスト範囲の語彙を定着させる。教科書の内容を英語で言えるようにする。
	2 学期	主にALTとの授業で英語を通じて積極的にコミュニケーションをとれるようにする。構文を意識し、情報や考えなどを的確に理解する力を伸ばし、パラグラフの構成を意識しながら読む。教科書の語彙、小テスト範囲の語彙を定着させる。聞き手に伝わるように音読や発表をする。幅広い題材に触れ文学を読む楽しみを見出す。
	3 学期	主にALTとの授業で英語で自分の意志を伝えられ、相手と意思疎通できる力をさらに伸ばす。構文を意識し、情報や考えなどを的確に理解する力を伸ばし、パラグラフの構成を意識しながら読む。教科書の語彙、小テスト範囲の語彙を定着させる。自分の考えを正確に表現する力をつける。
担当者からのコメント	これまで蓄積してきた文や単語を使いこなし、コミュニケーションに生かせるようになることを目指して学習しよう。文法や語彙・発音の知識はテストをペースメーカーに、定着するまで何度も繰り返す機会を持つこと。日本語でも英語でも、伝えたい内容がどうすれば正確に相手に伝わるか意識していこう。	

成績評価	観点	・英語によるコミュニケーションに関心を持ち、音読、Q&Aなどの言語活動に積極的に参加しているか。 ・英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解し、概要や要点をとらえているか。 ・授業で扱った内容を英語で再生できるか。
	方法	課題、小テスト、提出物、定期考査などによる。またペアワークやグループワークなどのコミュニケーション活動への積極性や、授業や課題に主体的に取り組んでいるかも評価する。

授 業 計 画	学 期	時間	指 導 内 容	備 考
	1 学期	中間	24	PROMINENCE English CommunicationⅡ Lesson 1-2
期末		24	PROMINENCE English CommunicationⅡ Lesson 3-4	
2 学期	中間	28	PROMINENCE English CommunicationⅡ Lesson 5-6	4技能を使った活動を行いながら、基礎力の充実に加え、応用力もつけていく。
	期末	28	PROMINENCE English CommunicationⅡ Lesson 7-8	
3 学期	学 年 末	36	PROMINENCE English CommunicationⅡ Lesson 9-10	4技能を使った活動を行いながら、これまでの知識・技能をさらに高める。

平成31年度 授業実施計画書

学 年	2 年
教科名	英 語
科目名	英 語 表 現 II
単 位 数	2
必修選択区分	必 修
使用教科書	Vision Quest English Expression II
使用副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ Vision Quest English Expression II ワークブック ・ Vision Quest English Grammar 24 ・ Vintage 英文法・語法 ・ ステップアップ式 徹底攻略英作文

組	科目担当者	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

学習の目標	1 学期	①文法・語法の知識を適切に活用して、状況に応じた英語で表現する力をつける。 ②語彙や文法・語法の知識を運用して身近な話題について60語程度のまとまりのある文章を書くことができる。
	2 学期	①文法・語法の知識を適切に活用して、状況に応じた英語で表現する力をつける。 ②語彙や文法・語法の知識を運用して様々なテーマの話題について60語程度のまとまりのある文章を書くことができる。
	3 学期	①文法・語法の知識を適切に活用して、状況に応じた英語で表現する力をつける。 ②語彙や文法・語法の知識を運用して様々なテーマの話題について70語程度のまとまりのある文章を書くことができる。
担当者からのコメント	文法・語法・構文の知識を演習や暗唱を通じて、定着させる。 まとまった量の自然な英語を用いて、様々な自己表現活動を行うことで、表現への意欲を高める。	

成績評価	観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容が定着しているか。 ・ 学習内容を活用してまとまった量の自然な英語で表現できるか。 ・ 授業に積極的に取り組み、表現活動につなげているか。
	方法	課題、小テスト、提出物、定期考査などによる。またALTなどとのコミュニケーション活動への積極性や各課題への主体的取り組みなども評価する。

授 業 計 画	学 期	時間	指 導 内 容	備 考
	1 学期	中間	12	Vision Quest English Grammar 24 Extra 1~5,10,11
期末		12	Vision Quest English Expression II Part1 Lesson1~5、Part2 Lesson 1	
2 学期	中間	14	Part1 Lesson6~10、Part2 Lesson 2	コミュニケーション活動や文法演習および英作文課題で状況に応じた表現力をつける。
	期末	14	Part1 Lesson11~15、Part2 Lesson 3 Part 3 Lesson 1	
3 学期	学年末	18	Part1 Lesson16~20、Part2 Lesson 4	コミュニケーション活動に加え、「書く力」をつけ、3年次の英作文演習につなげる。

平成31年度 授業実施計画書

学 年	3 年
教科名	英 語
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ
単 位 数	3
必修選択区分	必 修
使用教科書	FLEX English communication III
使用副教材	Cutting Edge 2 Cutting Edge 3 2度聴き精聴トレーニング[改訂版]

組	科目担当者
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

学習の目標	1 学期	ディスコースマーカーについて理解し、文章のパラグラフ構成を考えながら、概要や要点を捉えるために速読、精読ができる。日常的にリスニング演習を行い音声を通じた理解力を養う。文法の知識を活用する。
	2 学期	引き続き幅広い分野やスタイルの文章を数多く読むことを通じて、より速く正確に読み取る力を養う。入試問題演習を通じて和訳や内容説明、要約の技術を身につける。音声を重視しリスニング演習を継続する。
	3 学期	各自の目標に応じて読解、リスニング、ライティングの演習を進める。必要に応じて個別指導を積極的に受け、入試向けの実戦力を高める。
担当者からのコメント	センターで試される英語の運用能力は、既習の文法・構文の知識を実際に読み、書き、聞く活動を通じて技術として使いこなせるまで練習を積むことでのみ身につく。個別試験ではさらに複雑、高度な内容について読解、伝達能力を問われる。授業・課題を通して幅広い分野の英語を読み、思考力・背景知識を高めよう。	

成績評価	観点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や課題の読解やリスニングの教材に積極的に取り組んでいるか。 ・目的や設問に応じて速読・精読を使い分けながら、概要や要点を捉えて読んでいるか。 ・授業に積極的に参加しているか。
	方法	定期考査を中心に、授業及び授業内の活動への取り組み、課題等の提出状況などを総合的に判断して評価を行う。

授 業 計 画	学 期	時間	指 導 内 容	備 考
	1 学期	中間	12	FLEX III Lesson 1-3 Cutting Edge 2 9-14
期末		18	FLEX III Lesson 4-6 Cutting Edge 2 15-18 Cutting Edge 3 1-2	
2 学期	中間	21	FLEX III Lesson 7-8 Cutting Edge 3 7-11	秋期講習・冬期講習でセンター演習を行う。
	期末	21	FLEX III Lesson 9-10 Cutting Edge 3 12-16	
3 学期	学年末	27	個別指導	個別・添削指導、直前講習等

平成31年度 授業実施計画書

学 年	3 年
教科名	英 語
科目名	英 語 表 現 II
単 位 数	2
必修選択区分	必 修
使用教科書	POLESTAR English Expression II (数研出版)
使用副教材	Write to the Point (数研出版) The Reflex 643 (桐原書店) Vintage 英文法・語法(いっずな書店)

組	科目担当者	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

学習の目標	1 学期	①「主語の決定」、「目的の表現」、「理由の表現」、「時制」、「動詞の語法」、「関係詞」、「時間の表現」に関する知識が正確に反映された英文が書けるようになる。②文法・語法の項目別の問題に正確に解答できるようになる。③100語前後の自由英作文課題について自分の意見を英語で書けるようになる。
	2 学期	①「数字の表現」、「仮定・条件」、「比較」、「譲歩の表現」に関する知識が正確に反映された英文が書けるようになる。②文法・語法の全範囲の問題に正確に解答できるようになる。③100語以上の自由英作文課題についてパラグラフ構成を考慮しながら自分の意見を英語で書けるようになる。
	3 学期	・個別指導、個別添削を通して、各人が必要とする英作文力の練成・完成をめざす。
担当者からのコメント	実践的な演習を通じて、文法・語法・構文の知識の定着を確実なものとし、能動的に使用できるレベルまで高める。多様な出題方法に対応できる英語力を身につけるとともに、自己表現の手段としての英語の習得を目指していく。	

成績評価	観点	・大学受験に必要とされる文法・語法の知識が確実に身につけていること。 ・限られた時間内で、大学受験に必要とされるレベルの英語の文章が書けること。 (内容・論理構成・文法・語法・表記法に配慮された文章) ・大学受験に必要とされる正確な和文英訳ができること。
	方法	定期考査、小テスト、出席状況、課題提出、関心・意欲・態度などを総合的に評価する。

授 業 計 画	学 期	時間	指 導 内 容	備 考
	1 学期	中間	12	「Write to the Point」1～3、「The Reflex」1～3
期末		12	「Write to the Point」4～9、「The Reflex」4～9	
2 学期	中間	14	「Write to the Point」10～14、「The Reflex」10～15	
	期末	14	「Write to the Point」15～18、「The Reflex」16～20	
3 学期	学 年 末	18	個別指導	個別・添削指導、直前講習等

平成31年度 授業実施計画書

学 年	3 年
教科名	英 語
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ(スーパーB)
単 位 数	2
必修選択区分	選 択
使用教科書	ELEMENT English Communication Ⅱ
使用副教材	Make Progress in English Reading

講座	科目担当者
AB	
CD	

学習の目標	1 学期	大学入試の長文読解問題を解いていくための確かな読解力を養うとともに、英語らしい英文を書くために演習、添削を行いながら書く力を伸ばす。音読練習により速読力を養成する。
	2 学期	引き続き上記の活動を行うとともに、大学入試過去問題演習も適宜加え、より高度な読解力、表現力を養成する。
	3 学期	個別指導と添削指導を充実させそれぞれの生徒の実態に応じた指導を行う。
担当者からのコメント	高度な読解力、表現力を身につけさせるために、質の高い授業が展開できるよう常に心がけ、選択講座で比較的少人数であるというメリットを活かし、きめ細やかな個別指導を行う。	

成績評価	観点	①さまざまな題材の英文を理解し、自分なりの解釈ができているか。 ②基本的な英語構文が身につき、それを表現に活用しているか。 ③授業に積極的に参加しているか。
	方法	定期考査を中心に、授業及び授業内の活動への取り組み、添削課題等の提出状況などを総合的に判断して評価を行う。

授 業 計 画	学 期	時間	指 導 内 容	備 考
	1 学期	中間	12	Make Progress 1-4
期末		12	Make Progress 5-8	
2 学期	中間	14	Make Progress 13-16	音読・読解・作文の3つの活動をバランスよく行いながら、より高い英語力を身につけさせるように努める。
	期末	14	Make Progress 17-20	
3 学期	学年末	18	個別指導	個別に添削、解説を行う。

平成31年度 授業実施計画書

学 年	3 年
教科名	英 語
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ
単 位 数	2
必修選択区分	選 択
使用教科書	ELEMENT English Communication Ⅱ
使用副教材	Make Your Ascent to Better English Reading

講座	科目担当者
A	
B	
C	
D	

学習の目標	1 学期	英語長文を読むための基礎となる語彙、文法、文構造、パラグラフ展開等を学び、基本的な読解力をつける。
	2 学期	引き続き上記の活動を続け、さらに情報処理スピードを上げ、読解力を培う。
	3 学期	過去問題添削を個別対応で行い、更なる読解力アップを目指す。
担当者からのコメント	長めの英文を「読み切る」力をつける。そのための語彙・文法・文構造を確認し知識の定着を図る。また、「木を見て森を見ず」にならないよう、パラグラフの展開にも留意する。予習は必須だが、それだけで満足せず、授業・復習で知識をしっかり定着させ、他の英文読解にも活かせる力をつける。	

成績評価	観点	①さまざまな題材の英文を理解し、自分なりの解釈ができているか。 ②予習でわからなかったところを授業等で解決できているか。 ③授業に積極的に参加しているか。 ④学習した知識を他の英文で活かすことができるか。
	方法	定期考査を中心に、出席状況や授業へ取り組みなどを総合的に判断する。

授 業 計 画	学 期	時間	指 導 内 容	備 考
	1 学期	中間	12	Ascent 2、13、15
期末		12	Ascent 11、1、5	
2 学期	中間	14	Ascent 7、9、4	長文読解力のさらなるレベル・アップを目指す。
	期末	14	Ascent 6、10、12、16	
3 学期	学 年 末	18	Ascent 3、19、20	個別に添削指導をおこなう。

平成31年度 授業実施計画書

学 年	3 年
教科名	英 語
科目名	英 語 会 話
単 位 数	2
必修選択区分	選 択
使用教科書	Sailing English Conversation
使用副教材	CBS Workbook Extended Course 2019 (朝日出版社)

講座	科目担当者
AB	
CD	

学習の目標	1 学期	ナチュラル・スピードの速さで、アメリカ、イギリス、オーストラリア英語など様々な英語を体感することで、音の特徴を認識する。 積極的に英語を聞く・話す態度を養い、実践的コミュニケーション能力をつける。
	2 学期	積極的に英語を聞く・話す態度を養い、実践的コミュニケーション能力をつける。 難関大学入試問題や英語資格試験の問題も取り組ませ、志望大学に合格できるリスニング力を身につける。
	3 学期	大学入試リスニング問題(標準レベル)で80%以上の得点を目指す。
担当者からのコメント		

成績評価	観点	① 授業のリスニング活動に積極的に取り組んでいるか。 ② 外国人講師との授業または発表活動では、積極的に発話し、また発表課題に取り組んでいるか。 ③ 課題(予習・家庭学習用テキストなど)に確実に取り組んでいるか。
	方法	① リスニングテストを随時実施し、その到達度を見る。 ② スピーチ、ディスカッション等の活動を実施し、態度、内容、熱意、積極性の観点から評価する。

授 業 計 画	学 期	時間	指 導 内 容	備 考
	1 学期	中間	12	1. 英語の発音と速さに慣れる。2. 英語の音に慣れ、リスニングのコツをつかむ。3. チャットやリテリングなどの発話練習。
期末		12	1. 英語の発音と速さに慣れる。2. 英語の音に慣れ、リスニングのコツをつかむ。3. プレゼンテーションやディベートを体験する。	
2 学期	中間	14	1.2.3.同上。	1.2.は同上。3. 英語で意見を的確に述べられるよう指導する。4. 大学入試問題の英文の長さ・速さに慣れさせる。
	期末	14	1. 基礎的事項の最終確認。2. 難易度の高い入試問題に取り組み、実践力をつける。3.は同上。	
3 学期	学年末	18	既習事項の総復習及び大学入試問題を行う。	難易度の高い大学入試のリスニング問題を用いて、生徒の実践力及び応用力をつける。